



24.3.30 新人職員との交流会

を行いましたので、交流の様子を紹介します

自治労北海道青年部政治集会

2月25・26日に自治労会館で行われた自治労北海道本部青年部政治集会に佐々木部長（2日目のみ）・渡部さんが参加しました。1日目は「社会保障・税一体改革について」の講演と分散会で政治について話し合い、2日目にあいはらくみこ議員を招いての国政報告・意見交換会がありました。

参加しての感想は以下のとおりです。

佐々木

今回二日日程の集会でしたが、前日は別の研修が重なっていたため2日目だけの参加となりました。今回初めてあいはらくみこさんの話をお聞きしましたが、実際に非常勤職員として組合活動に参加されていたということには驚かされました。ですが、非常勤職員だからこそ感じる事ができた疑問もあるのかなというようにも感じ、その当時活動されていたときの思いがとても伝わった報告でした。現在の情勢に関する報告もあり「民主党の力のなさを実感した」という言葉があいはらさんからありましたが、自らの組織を客観視しながら問題と向き合っていることのすごさを感じたと同時に、活動を進める中で私たち自身も見習わなければならないと感じました。

渡部

今回社会保障・税一体改革についてその必要性や大まかな内容を学びましたが、これが実際に仕事でも生活でもどう影響してくるのかイメージしにくく、どう行動したらいいのかわからないという意見が分散会の中でも共通して言われたことでした。政治に対して無関心・政治との付き合い方がわからない・新聞やテレビでニュースを見る習慣がないなど様々な要因から政治との関係を実感することが少ないのが若者の現状なのかもしれませんが、分散会のメンバーのうち「町で孤独死が起こった際に内外から保健師が責められたが、公務員の人員削減のために業務で手いっぱいだった」という報告があり、公務員に対する政策の影響が実際に人の命にまで及ぶことを知り、組合などを通して声をあげていく必要性を強く感じました。そして政治集会を通して自分の政治への無関心さと無知さを痛感したので、これをきっかけに、もっと政治に対して敏感になればと思いました。

反戦・反核闘争の強化にむけて

「ピースカンパ」へのご協力ありがとうございました。

87名の方より、19,759円カンパいただきました。

ご協力いただきました組合員の皆さま、本当にありがとうございました。